



オールドノリタケ「金彩白鳥梅図ティーセット」(明治44～大正10年頃)

横山美術館 —明治以降の輸出陶磁器を中心に展示—

横山美術館は平成29年10月1日にオープンし、明治・大正時代に制作された輸出陶磁器の“里帰り品”を中心に展示しています。名古屋はかつて、海外へ輸出される陶磁器生産の一大拠点であり、産地である瀬戸などに近いという好立地から、特に現在の名古屋市東区には多くの陶磁器工場が立ち並んでいました。陶磁器に絵付けを施す、上絵付業が発達する中で、“名古屋絵付”と呼ばれる豪華で華やかな作風は、海外でも人気を博しました。横山美術館では名古屋周辺で制作された輸出陶磁器をはじめ、日本初の洋風陶磁器であるオールドノリタケや、まとまった作品群を目にする機会の少ない隅田焼のほか、有田焼、京焼、瀬戸焼、九谷焼、萬古焼など、息をのむほど緻密で大胆な作品の数々をご覧いただいています。(学芸員 原久仁子)

目次

- 愛知県博物館協会平成30年度総会のご報告 2
 - 平成30年度東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部総会のご報告 9
 - 表紙館のご紹介 10
-

愛知県博物館協会 平成 30 年度総会のご報告

愛知県博物館協会の平成 30 年度総会が 6 月 14 日に開催された。通例は会長館での開催であるが、会長館である愛知県美術館が改修工事中のため、監事館である名古屋市科学館が会場となり、参加館 58 館より 103 名の出席があった。当日の概要は下記の通りである。

《総会》

1. 開会の辞
2. 会長あいさつ



南 雄介会長（愛知県美術館）



総会会場風景

3. 愛知県博物館協会表彰

下記の方々が、愛知県博物館協会より永年の業績に対する表彰を受けました。

長屋 菜津子氏（功労賞）	前 愛知県美術館主任学芸員
神崎 かず子氏（功労賞）	愛知県陶磁美術館副館長
加藤 卓司氏（功労賞）	美術の森館長
加藤 真理子氏（功労賞）	美術の森事務局長
堀江 登志実氏（功労賞）	前 岡崎市美術博物館副館長



被表彰者登壇風景

4. 議 題

議長（会長 愛知県美術館 館長 南 雄介氏）

議題1 平成29年度事業報告並びに決算報告について

1 研修会の実施

(1) 愛知県博物館職員等研修会・東海三県博物館協会研究交流会

・「無形文化財を博物館で「みせる」」

日 時 平成29年11月7日（火） 午後1時～午後4時30分

会 場 名古屋市博物館

参加者 80名

基調講演 武蔵野美術大学 教授 神野 善治 氏

事例発表 名古屋市博物館 学芸員 鈴木 雅 氏

美濃歌舞伎博物館相生座 小栗 幸江 氏

桑名市商工観光文化課 学芸員 久保田 恵友 氏・

桑名市博物館 館長 杉本 竜 氏

(2) 部門別研修会

・「展示室は撮影禁止？それとも撮影歓迎？」

日 時 平成30年3月7日（水） 午後1時30分～午後3時

会 場 南山大学人類学博物館

参加者 32名

講 師 愛知県美術館 館長 南 雄介 氏

豊田市美術館 チーフ・キュレーター 北谷 正雄 氏

・「照明で魅せる！！」

日 時 平成30年2月23日（金） 午前10時30分～午後4時

会 場 博物館明治村

参加者 41名

講 師 株式会社YAMAGIWA 石橋 雅之 氏

愛知県美術館 学芸員 黒田 和士 氏

2 表 彰

愛知県博物館協会表彰規程に基づく表彰（表彰者3名）

3 印刷物の作成・配布

「おでかけガイド」 年2回発行（秋・春）

4 協会報編集

「愛知の博物館」をWEB上にて公開（PDF版） 年2回発行（No.106、107）

5 ホームページの運営

6 災害発生時における支援活動要領に基づく災害対策訓練

会長館（名古屋市博物館）を軸として、災害を想定した非常連絡訓練を実施した。

7 その他会議等

- ・理事会及び総会、記念講演会
日 時 平成 29 年 6 月 8 日（木）
会 場 名古屋市博物館
記念講演会
「復興キュレーション ―ポスト文化財レスキュー期における文化創造活動」
講 師 東北学院大学 教授 加藤 幸治 氏
- ・実行委員会（8 回開催）
平成 29 年 4 月 26 日（水） 会場 名古屋市博物館
平成 29 年度事業計画と役割分担、協会表彰 他
平成 29 年 5 月 25 日（木） 会場 名古屋市博物館
平成 29 年度理事会・総会の内容確認、及び資料・役割分担、災害対策 他
平成 29 年 6 月 8 日（木） 会場 名古屋市博物館
平成 29 年度理事会及び総会
平成 29 年 8 月 3 日（木） 会場 名古屋市博物館
平成 29 年度理事会・総会開催報告、職員研修会、災害対策 他
平成 29 年 9 月 14 日（水） 会場 名古屋市博物館
職員研修会、ホームページの運営 他
平成 29 年 11 月 22 日（水） 会場 名古屋市博物館
職員研修会・東海三県博物館協会研究交流会開催報告、災害対策 他
平成 30 年 1 月 18 日（木） 会場 熱田神宮宝物館
部門別研修会、災害対策 他
平成 30 年 3 月 6 日（水） 会場 名古屋市博物館
平成 30 年度総会の講演、協会報、災害対策 他

議題 2 平成 30 年度事業計画（案）並びに予算（案）について

1 事業

- （1）記念講演会の実施
開催日 平成 30 年 6 月 14 日（木）
会 場 名古屋市科学館
- （2）職員研修会【担当：愛知県陶磁美術館、豊橋市自然史博物館、鳳来寺山自然科学博物館】
見学会を実施
時 期 平成 30 年 10 月～11 月（予定）
会 場 未定
- （3）部門別研修会【担当：（研修 1）稲沢市荻須記念美術館、熱田神宮宝物館
東海市立平洲記念館・郷土資料館】
【担当：（研修 2）蟹江町歴史民俗資料館、豊田市郷土資料館
博物館明治村】
調査・研究、教育・普及、保存・修復の 3 部門の内、2 部門の研修会を実施
時 期 平成 30 年 12 月～平成 31 年 2 月で 2 回開催予定
会 場 未定（尾張地区・三河地区で 1 回ずつ開催予定）
- （4）表 彰
愛知県博物館協会表彰規程に基づき、表彰を行う。（該当者 5 名）
実施日 平成 30 年 6 月 14 日（木）（総会において実施）

(5) 印刷物の編集・発行

- ・協会報「愛知の博物館」2回 WEB版（電子媒体発行）
【担当 秋季：熱田神宮宝物館 春季：昭和美術館】
- ・「おでかけガイド」2回発行
【担当 秋季：徳川美術館 春季：岡崎市美術博物館】

(6) ホームページの運営

【担当：でんきの科学館】

(7) 災害発生時の対応

(8) その他

- ・平成30年度東海地区博物館連絡協議会及び日本博物館協会東海支部総会
開催時期 平成30年7月末～8月頃（予定）
会 場 愛知県美術館
- ・平成30年度東海三県博物館協会研究交流会
開催時期 平成30年秋頃
会 場 未定（岐阜県担当）

2 会 議

(1) 総 会

期 日 平成30年6月14日（木）
会 場 名古屋市科学館 生命館地下2階 サイエンスホール

(2) 理事会

期 日 平成30年6月14日（木）
会 場 名古屋市科学館 生命館6階 学習室

(3) 実行委員会

随時 年間8回程度開催

議題3 災害発生時における支援活動要請に基づく災害対策訓練

平成29年度に引き続き、今年度も非常連絡訓練を実施する。訓練に際し、加盟館においては、災害発生時の円滑な連絡と支援に向けて、理解と協力を願いたい。またブロック館などの体制の改善についても、実行委員を中心として議論を重ねていく予定である旨の事務局説明があり、異議なく承認された。

5. 報 告

- ・愛知県博物館協会加盟館の動向について
 - ・退会 日本独楽博物館（平成29年度退会）
 - ・新規加盟 刈谷市歴史博物館（平成31年3月24日開館予定）
 - 119館加盟（平成30年6月14日現在）
- ・東海地区博物館連絡協議会・東海三県博物館協会研究交流会について
平成30年度、東海地区博物館連絡協議会は愛知県が当番館、東海三県博物館協会研究交流会は岐阜県博物館協会が担当することとなった。

- ・名古屋ポストン美術館の閉館について

事務局より、平成 30 年 10 月 8 日をもって同館が閉館する旨の報告があり、続いて同館特別顧問 吉田俊英氏より、20 年にわたる活動の成果報告と、これまでの愛知県博物館協会並びに加盟館に対し謝意が伝えられた。

6. その他

- ・文化プログラム「beyond 2020 プログラム」の参加について

2020 年東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げるための同プログラム実施について、愛知県県民文化部文化芸術課担当者より、概要説明と参加登録の呼びかけがなされた。

7. 閉会の辞

《記念講演会》

総会終了後、記念講演会を実施した。

演題 浜松市における文化財と観光の取組み

講師 鈴木 一有 氏（すずき かずなお 浜松市文化財課 埋蔵文化財グループ長）

今回の記念講演会は、浜松市が取り組む文化財関連事業と観光の取組みについて、具体例を挙げながらお話し頂いた。

同市では昭和 33 年、初めて埋蔵文化財に関する専門職員が採用され、次第に遺跡台帳の作成、埋蔵文化財包蔵地台帳や分布図が公刊され、文化財保護行政の基礎が整えられたという。

所謂「平成の大合併」時には合併市町村の埋蔵文化財業務を市の教育委員会へと一元化させ、さらに平成 19 年、浜松市が政令指定都市になると、市長部局に移るなど、様々な組織改変を経て現在に至っている。

この組織改変により、文化財課と他部局との関わりも深まり、都市整備部局や観光、広報部局との接点が急増し、縦割り行政の難点も解消され、情報の共有化が図られるようになったという。加えて平成 29 年度には井伊直虎を主人公とした大河ドラマも放映され、一気に浜松市、また井伊家の本貫地であった北区（旧引佐郡）が脚光（脚下の光…？ スポットライトと言うべきか…）を浴び、文化財行政と観光がタッグを組むこととなる。

また、同市のシンボリック存在である浜松城は徳川家康が居城としたことでも知られ、現在でも発掘調査を行い、出土品を公開し、またガイドブックの作成や報道との連携、また SNS での拡散も図り、知名度・認知度の向上を狙っている。そして、講演会を通じて感じたことは、組織改変や統合など一般企業では戦々恐々とする事態でも、それに臆することなく、逆に好機ととらえ、追い風にして事業発展を行っている同氏の前向きな姿勢に、超後ろ向きな思想しか思い浮かばない私には、青天の霹靂な講演内容であった。

尚、記念講演会終了後、講師にも参加を頂き情報交換会が行われ、有意義な情報交換がなされた。
（熱田神宮宝物館 宝物係長 内田 雅之）



鈴木 一有氏（浜松市文化財課）

平成 30 年度 愛知県博物館協会役員

役職名	館（園）名	代表者名	備考
理事	愛知県美術館	館長 南 雄介	会長
〃	トヨタ博物館	館長 布垣 直昭	副会長
〃	愛知県陶磁美術館	館長 上田 章博	
〃	稲沢市荻須記念美術館	館長 山田 美佐子	
〃	熱田神宮宝物館	館長 大原 和生	
〃	岡崎市美術博物館	館長 榊原 悟	
〃	蟹江町歴史民俗資料館	館長 松井 督人	
〃	昭和美術館	館長 柳澤 幸輝	
〃	でんきの科学館	館長 小野塚 雅夫	
〃	東海市立平洲記念館・郷土資料館	館長 立松 彰	
〃	豊田市郷土資料館	館長 森 泰通	
〃	豊橋市自然史博物館	事務長 仲井 慎治	
〃	名古屋市博物館	館長 三芳 研二	
〃	博物館明治村	館長 中川 武	
〃	鳳来寺山自然科学博物館	館長 加藤 貞亨	
監事	徳川美術館	館長 徳川 義崇	
〃	名古屋市科学館	館長 瀬瀬 満	

平成 30 年度 愛知県博物館協会実行委員

館（園）名	実行委員氏名	備考
愛知県美術館	黒田 和士	(会長館)
トヨタ博物館	藤井 麻希	(副会長館)
愛知県陶磁美術館	田村 哲	(会員館)
稲沢市荻須記念美術館	大原 万季	(") 2018. 4. 1～
熱田神宮宝物館	内田 雅之	(")
岡崎市美術博物館	湯谷 翔悟	(") 2018. 4. 1～
蟹江町歴史民俗資料館	花井 昂大	(") 2018. 4. 1～
昭和美術館	後藤 さち子	(")
でんきの科学館	中本 昌子	(")
東海市立平洲記念館・郷土資料館	安津 由香里	(") 2018. 4. 1～
豊田市郷土資料館	山田 佳美	(") 2018. 4. 1～
豊橋市自然史博物館	一田 昌宏	(") 2018. 4. 1～
名古屋市博物館	鈴木 雅	(")
博物館明治村	王 雅寧	(") 2018. 5.23～
鳳来寺山自然科学博物館	西村 拓真	(") 2018. 4. 1～
徳川美術館	安藤 香織	(") 2018. 4. 1～
名古屋市科学館	鈴木 雅夫 柏木 晴香	(") (")

愛知県博物館協会事務局

事務局長	古田 浩俊	愛知県美術館副館長
事務局	拝戸 雅彦	同館企画業務課長
〃	渡邊 仁	同館企画業務課長補佐
〃	白井 千裕	同館企画業務課主事
〃	佐原 裕華	同館企画業務課一般非常勤職員
〃	黒田 和士	同館企画業務課学芸員
〃	由良 濯	同館企画業務課学芸員

平成 30 年度東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部総会のご報告

東海地区博物館連絡協議会・日本博物館協会東海支部の平成 30 年度総会が、平成 30 年 8 月 1 日（水）、愛知県美術館において開催された。当日の総会概要は以下の通りである。

参加者内訳：日本博物館協会 1 名、愛知県教育委員会 1 名、愛知県 16 館 26 名、山梨県 1 館 1 名、神奈川県 2 館 3 名、岐阜県 6 館 6 名、静岡県 4 館 5 名 計 43 名

- 議題 1. 平成 30 年度理事及び監事の選任について
- 議題 2. 平成 29 年度事業報告及び決算報告について
- 議題 3. 平成 30 年度事業計画及び予算案について
- 議題 4. 平成 31 年度開催県について

上記議題はいずれも異議なく承認された。平成 31 年度の開催県は山梨県である。また総会に先立って開催された理事会において、当協議会の活動の充実について活発な議論がなされ、次回の総会より総会にあわせてシンポジウム等を開催する準備を進めるとの報告が会長よりあった。

議題の後に、日本博物館協会専務理事 半田昌之氏より日本博物館協会の主要事業説明が行われた。全国博物館大会の開催や月刊誌『博物館研究』の発行などの普及啓発事業、車いす・ベビーカーの支給や大規模災害時の博物館・文化財被害への復興支援などの博物館支援事業、博物館登録制度の在り方の検討などの調査研究事業、博物館職員の資質向上を図る研究協議会の開催や顕彰の実施などの資質向上事業、ICOM 日本委員会の事務局運営や「国際博物館の日」の実施などの国際交流事業についての説明のほか、平成 31 年に開催される ICOM 京都大会についての説明と参加・協力の呼びかけがあった。

総会終了後は、名古屋城に移動し、平成 30 年 6 月に復元工事が完了した名古屋城本丸御殿の見学が行われた。名古屋城は、本丸御殿も含め、城郭として旧国宝第 1 号に指定されるも、昭和 20 年 5 月、先の大戦の本土空襲により、灰燼に帰した建造物である。以来、70 余年の月日を経て復元された。また、戦後に篤志家の寄付により復興された天守閣も現在は旧態の木造建築に復すべく検討中である。そのような中、先んじて復元された本丸御殿を、名古屋城学芸員小西恒典氏に解説いただき、桧材の芳香を感じるとともに同じく復元された本丸御殿障壁画も併せて鑑賞し、充実した施設見学となった。

（愛知県美術館 学芸員 黒田和士）



総会風景



半田昌之氏（日本博物館協会）



施設見学（名古屋城本丸御殿）

表紙館のご紹介

■横山美術館

【開館時間】

10:00～17:00（入館は16:30まで）

【休館日】

毎週月曜日（祝・休日の場合開館、翌平日休館）
年末年始

【入館料】

企画展開催時

一般 1,000円（800円）
高・大学生・シニア 800円（600円）
中学生 600円（400円）
小学生以下無料
障がい者手帳をお持ちの方 700円

常設展のみ開催時

一般 700円（500円）
高・大学生・シニア 500円（300円）
中学生 400円（300円）
小学生以下無料
障がい者手帳をお持ちの方 500円

※（ ）内は20名以上の団体料金

【所在地】

〒461-0004 名古屋市東区葵一丁目1番21号

TEL 052-931-0006

<http://www.yokoyama-art-museum.or.jp>

【交通手段】

名古屋市営地下鉄

東山線「新栄町」駅1番出口 徒歩4分

桜通線「高岳」駅3番出口 徒歩4分

※専用駐車場はございませんので、近隣の有料駐車場をご利用ください。



横山美術館外観



セト・ノベルティ
（企画展「愛されたセト・ノベルティ展」より）

「愛知の博物館」 No.108

発行日 平成30年9月1日

編集・発行 愛知県博物館協会

〒461-8525

愛知県名古屋市東区東桜1-13-2

愛知県美術館内

TEL. 052-971-5511